

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03095 水道維持管理事業

電話番号 0566-71-2284

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	004	良好な水環境の実現			
事務事業	003	水道維持管理事業			
事業期間	昭和34年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	水道法、水道法施行規則、給水条例、給水条例施行規則、地方財政法 平成31年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。				
備考					

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	安全・安心な水道サービスを継続して受けることができます。
手段	水道施設の計画的な点検及び維持管理を行い、その機能を保持するとともに、水道料金を収納します。
事務内容	経営戦略策定事務、予算及び決算事務、水道料金賦課事務、水道料金収納管理事務、給水の開始・廃止等受付事務・配水管維持管理事務・浄配水場施設運転保守管理事務、浄配水場水質検査等事務 など

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	2,975,673	3,045,825	3,220,748
事業費	2,859,093	2,899,825	3,074,748
国庫支出金	2,264	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,846,435	2,743,861	2,909,780
一般財源	10,394	155,964	164,968
人件費計	116,580	146,000	146,000
正規（人）	17.40	20.00	20.00
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査・漏水等修理、調査作業・料金滞納者訪問1,214件、料金未納者給水停止256件・料金改定業務	浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査・漏水等修理、調査作業・料金滞納者訪問1,249件、料金未納者給水停止237件	浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査・漏水等修理、調査作業・料金滞納者訪問予定1,080件、料金未納者給水停止予定200件

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時44分17秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03095 水道維持管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
経常収支比率	%	0.00 113.50	115.00 111.50	115.00 0.00
料金回収率	%	0.00 110.00	105.00 99.50	105.00 0.00
自己保有水源率	%	0.00 30.50	25.90 29.60	25.90 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	水道事業は水道法に基づき行っており、市が行うサービスです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	水道はライフラインであるため必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
理由	経常収支比率は経常費用の割合増により目標を下回りました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	安定的に水道水を提供することができました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体の水道事業も同様に行っています。		

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	・ 定期的な維持管理、迅速な漏水対応が必要とされますので、規模に対応した直営対応、民間委託による体制を確立しています。今後も継続的に配水管の維持管理に取り組んでいく必要があります。 ・ 浄配水場の安全性を維持するため、施設の点検を効果的かつ計画的に実施しています。また、設備の保守管理は定期点検の結果を受け予防保全に取り組んでいく必要があります。 ・ 業務受託者の知識とノウハウを取り入れ、水道開閉栓や滞納整理等の業務改善に取り組んでいきます。 ・ 持続可能な水道事業の経営を目指し、適正な水道料金のあり方と財源の確保について検討するとともに、経常収支比率の目標どおりの進捗に努めます。 ・ 国の交付金を使って基本料金免除を 2 か月分実施したため、料金回収率が低くなっています。

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03096 水道建設改良事業

電話番号 0566-71-2284

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	004	上下水道の防災・減災			
事務事業	002	水道建設改良事業			
事業期間	昭和30年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	水道法、水道法施行細則、給水条例、水道施設等維持管理指導要領、大規模地震対策特別措置法 平成 3 1 年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。				
備考					

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	老朽管の布設替えや、水道施設の耐震化を行うことにより安定した水の供給を図ります。
手段	老朽管を耐震管に布設替えすることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。水道施設の耐震化を行い、地震に強く信頼性の高い整備に努めます。
事務内容	区画整理区域内配水管布設事業、地震防災施設緊急整備事業、水量不足地域配水管布設事業、給水装置設置等申請審査事業、専用水道事業、他事業に関連する配水管布設替事業、老朽管布設替事業 など

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		1,327,209	1,658,242	2,685,900
事業費	事業費	1,240,779	1,563,342	2,591,000
	国庫支出金	15,000	35,900	79,495
	県支出金	0	0	0
	地方債	230,000	200,000	300,000
	その他	976,255	1,310,669	2,006,310
	一般財源	19,524	16,773	205,195
	人件費計	86,430	94,900	94,900
	正規（人）	12.90	13.00	13.00
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8年 8月12日
15時44分17秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03096 水道建設改良事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
管路の耐震管率	%	0.00 39.30	41.40 40.10	42.60 0.00
管路の更新率	%	0.00 0.74	1.18 0.72	1.24 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	水道事業は水道法に基づき行っており、市が行うサービスです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	水道はライフラインであるため必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	施工単価上昇による管路更新量の減少により目標値を下回りました		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	他事業との同調施工により事業費の削減に努めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体の水道事業も同様に行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	・ 災害に強いライフラインにするため、水道施設の耐震化を行っています。 ・ 老朽管を耐震管に布設替えることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。 ・ 安全な水道水の供給を行うため、給水申込書の審査を行っています。 ・ 水の安定供給を図るため、計画的な施設及び管路の耐震化や更新を今後も取り組んでいく必要があります。 ・ 指標の目標値を見据え、管路更新量の確保に努めていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。